

株主の皆さまへ

第 42 期 報 告 書

2019年4月1日から2020年3月31日まで



## 株主の皆さまへ

### ご挨拶

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第42期報告書（2019年4月1日から2020年3月31日まで）をお届けし、事業の概況等についてご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、米中貿易戦争の長期化や中国経済の減速などの影響を受けつつも、比較的緩やかな回復傾向が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症の発生とその世界的な拡大により、堅調に推移していた米国をはじめ、各国の景況感は急速に悪化しました。日本経済につきましても、感染症の影響で足元の景気は大幅に落ち込み厳しい状況となりました。

半導体業界におきましては、次世代通信規格「5G」関連やハイエンドデバイス向けを中心に、各社の設備稼働率は比較的高い水準で推移しておりますが、感染症の影響により、サプライチェーンの混乱や、多くの半導体工場で操業を制限されるなど、本格的な回復が期待されていたところにブレーキがかかることとなりました。

このような状況のもと、当社グループは、中長期的に拡大が期待される半導体需要を見据え、マレーシアに当社最大規模となる新工場を2019年12月に竣工いたしました。当工場は、既存のモールドング装置の生産能力増強のほか、今後本格的な展開が予想される超大判PLP（パネルレベルパッケージ）向けのモールドング装置の生産や、アセアン地域向けの受託加工などに活用する予定です。感染症の世界的な拡大により先行きは不透明であるものの、5G関連やメモリー向けを中心に足元の受注環境は堅調で、当第4四半期連結会計期間の受注高は84億42百万円となりました。

なお、当事業年度の期末配当金につきましては、2020年5月28日開催の取締役会にて、前事業年度と同じく1株当たり16円の配当を行うことを決議しております。なお、中間配当金を見送りとさせていただきますので、年間の配当金は1株当たり16円となります。

今後とも、株主の皆さまのご期待にお応えいたすべく、グループ一丸となって邁進していく所存でございますので、何卒一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月



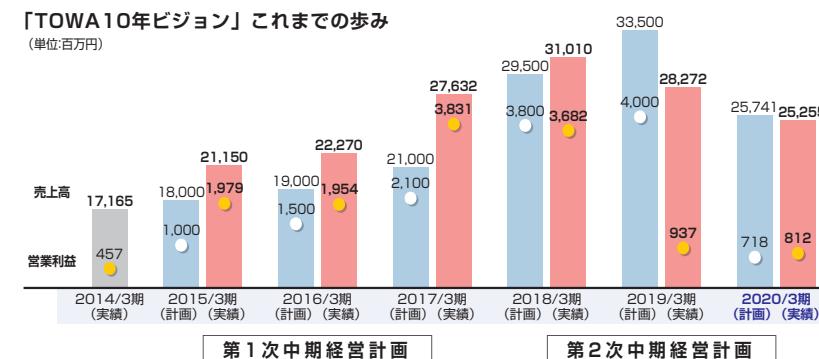
代表取締役社長 **岡田博和**

## 第42期の概況と今後の計画

左頁で述べました取り組みの結果、当連結会計年度における売上高は252億55百万円（前連結会計年度比30億16百万円、10.7%減）、営業利益8億12百万円（前連結会計年度比1億24百万円、13.3%減）、経常利益6億47百万円（前連結会計年度比2億92百万円、31.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益3億68百万円（前連結会計年度比5億8百万円、58.0%減）となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症による各国での移動制限などにより、一部のお客様で工場への設備納入に遅れが生じました。一方、生産日程を調整することで、第43期納入予定の設備を第42期に前倒しで納入し売上計上するなどの対応を行った結果、業績に与える影響は軽微となりました。

2020年4月からは下記第3次中期経営計画をスタートさせており、これに沿ってさらなる企業価値の向上に努めてまいります。



(※)2020/3期の計画数値は2019年10月29日公表の修正予想値

## 第3次中期経営計画（2020年4月～2024年3月）

### テーマ:パラダイムシフトで挑む「TOWA10年ビジョン」の達成

#### 基本方針

- ◆パラダイムシフトにより保有する技術・品質・プロセス(ノウハウ)の付加価値を具現化し収益力を高める
- ◆スループットの最大化により市場競争力と財務基盤の強化を図る
- ◆コア技術を根幹に新たな事業と収益の拡大を図る
- ◆次世代をリードする人材の育成を図る
- ◆コーポレートガバナンスの充実とSDGsの取り組みにより企業価値の向上を図る

(単位:億円)

	2021年3月期 (計画)	2022年3月期 (計画)	2023年3月期 (計画)	2024年3月期 (計画)
売上高	290	350	420	500
半導体製造装置事業	185	225	263	310
化成品事業	17	18	20	21
新事業	68	84	110	139
レーザ加工装置事業	20	23	27	30
営業利益	20	40	60	80
経常利益	20	40	60	80
当期純利益(※)	14	28	42	56

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

## 生産力強化 マレーシア新工場竣工

2018年8月より建設を進めておりました当社の100%子会社であるTOWAM Sdn. Bhd.のペナン新工場が2019年12月に完成し、2020年3月に竣工式を行いました。当工場は、生産量増加への対応、および今後の需要拡大が見込まれる大判化対応装置(CPM1180)の生産やTSS(トータル・ソリューション・サービス)事業における部品製作専用ラインの設置の他、装置改造ビジネスなどの事業展開を視野に入れた生産拠点の構築を目的として建設しました。

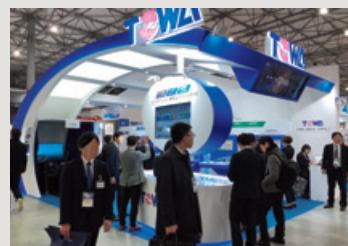
当工場は、今後さらなる拡大が予想される5G通信関連市場をターゲットとして、WLP(ウェハレベルパッケージ)、PLP(パネルレベルパッケージ)を用いた半導体デバイス製造向けの大判化装置を量産できる体制を構築しております。



## 取引機会の拡大 国際カーエレクトロニクス技術展に出展

2020年1月15日から17日までの3日間、東京ビッグサイトにて開催された「カーエレクトロニクス展」に出展しました。

3回目の出展となる今回は、「未来へ走り出す自動車」をコンセプトに、細部まで趣向を凝らしたブースデザインを採用し、実際に当社のヘッドアップディスプレイ(HUD)や空中映像技術が体験できるコックピット型のデモ実演ゾーンを設置しました。



期間中、国内外から約360名の来訪者にお立ち寄りいただき、半導体・新事業・レーザ技術についても理解を深めていただくことができました。



HUD+空中映像デモ機

## TOWA韓国が経営大賞受賞

2019年10月22日、TOWA韓国は、第15回天安市企業人賞において経営大賞を受賞しました。天安市企業人賞は、優秀な経営実績とともに、雇用創出や地域経済の発展と活性化に貢献した企業を称える賞です。中でも経営大賞は、経営能力、成果、投資比率、雇用創出および労使和合など、全ての分野で優れた実績を上げた企業に与えられる賞であり、受賞は大変名誉なことです。

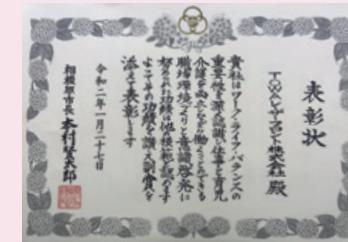
TOWA韓国は、これからも信頼向上に努め、地域社会の雇用創出と発展に寄与し、共存の価値を実現できるよう、励んでまいります。



TOWA韓国 韓代表理事(当社執行役員)

## TOWAレーザーフロントがワークライフバランスで表彰

2020年1月27日、TOWAレーザーフロントは、神奈川県相模原市長より、「令和元年度 仕事と家庭両立支援推進企業表彰」を受賞しました。同社は、「ワークライフバランス」を積極的に推進しており、育児休業および短時間勤務の対象である子供の年齢を拡大しています。また、年次有給休暇とは別にファミリーフレンドリー休暇(特別有給休暇)を設けており、家族の看護・介護、疾病の予防、学校行事およびボランティアへの参加など、フレキシブルに活用できます。これからも、社員全員が仕事の時間とプライベートの時間を有効にかつ充実できる仕組みと環境作りを行い、会社全体の活性化を目指します。



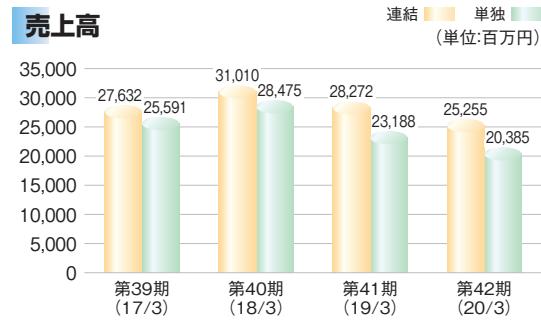
## SDGsへの取り組み強化

2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)への貢献に向けた取り組みとして、2020年3月に役員および部長以上の管理職を対象に説明会を行い、SDGsに対する意識を高めました。これに合わせ、当社ホームページにSDGsのページを開設し、当社の取り組みを紹介しております。

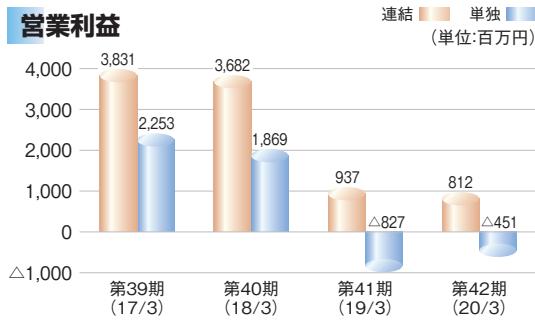
また、多くの企業が参加する「関西SDGsプラットフォーム」にも入会しました。当社は、今後も社会共通の課題解決に向けた取り組みを強化してまいります。

# 業績の推移

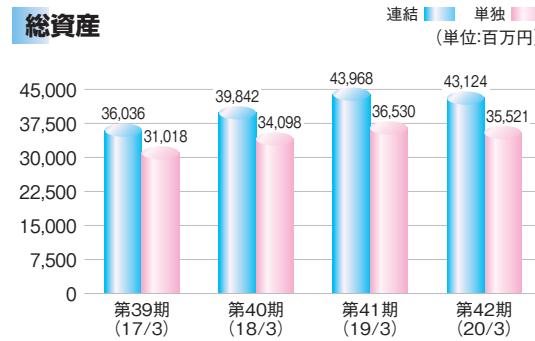
## 売上高



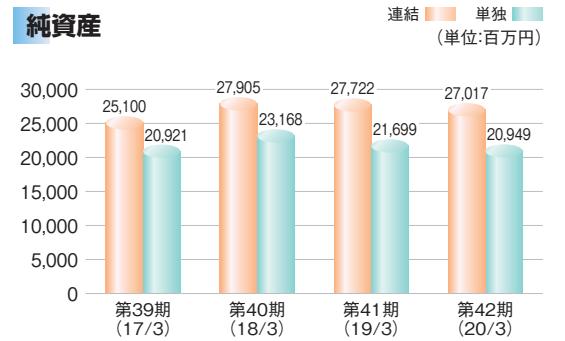
## 営業利益



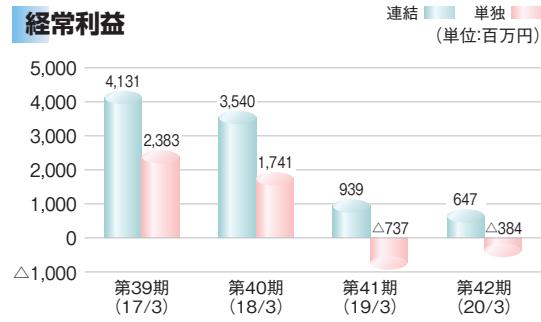
## 総資産



## 純資産



## 経常利益

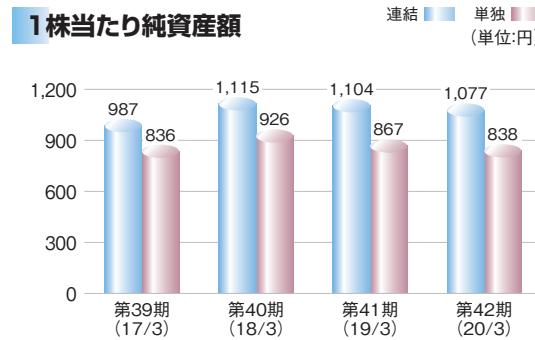


## 当期純利益

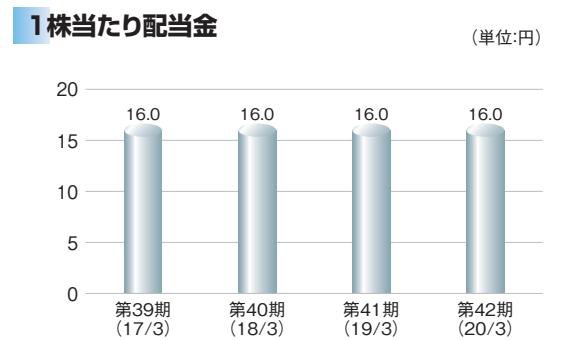


(注)連結については、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しております。

## 1株当たり純資産額

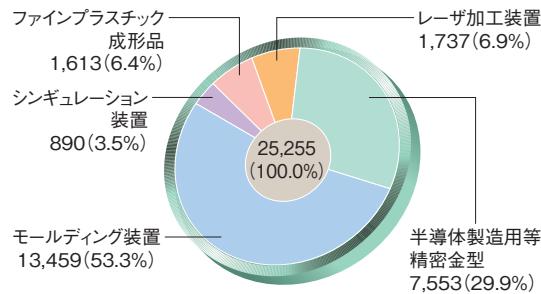


## 1株当たり配当金

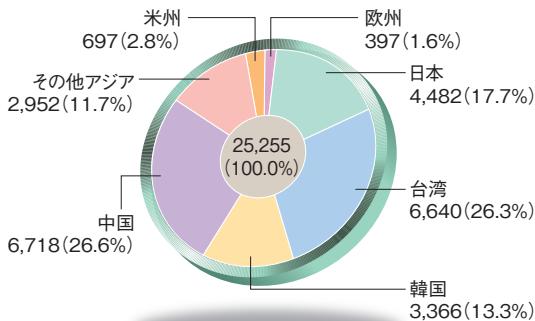


## [セグメント別連結売上高 (第42期)]

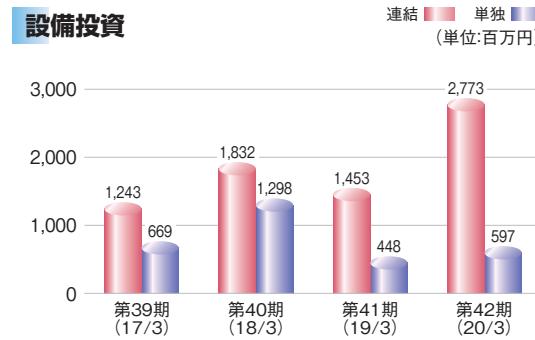
### 製品別 (単位:百万円)



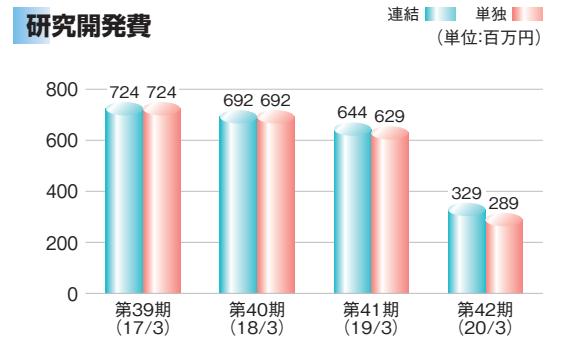
### 地域別 (単位:百万円)



## 設備投資



## 研究開発費



## 決算概要

連結貸借対照表 (2020年3月31日現在)

科目	金額
<b>【資産の部】</b>	
流動資産	24,554
現金および預金	10,015
受取手形および売掛金	7,053
電子記録債権	53
たな卸資産	6,654
その他	779
固定資産	18,570
有形固定資産	13,780
建物および構築物	5,624
土地	4,341
その他	3,815
無形固定資産	686
投資その他の資産	4,103
資産合計	43,124

(注) 当期の連結子会社は15社であります。

連結損益計算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで) (単位: 百万円)

科目	金額
売上高	25,255
売上原価	18,667
売上総利益	6,587
販売費および一般管理費	5,775
営業利益	812
営業外収益	205
営業外費用	370
経常利益	647
特別利益	2
特別損失	4
税金等調整前当期純利益	644
法人税・住民税および事業税	436
法人税等調整額	△ 141
当期純利益	350
非支配株主に帰属する当期純損失	18
親会社株主に帰属する当期純利益	368

(単位: 百万円)

科目	金額
<b>【負債および純資産の部】</b>	
流動負債	10,603
支払手形および買掛金	1,648
電子記録債務	1,070
短期借入金	3,800
一年以内返済予定長期借入金	1,136
その他	2,949
固定負債	5,503
長期借入金	4,450
その他	1,053
負債合計	16,107
株主資本	26,210
資本金	8,932
資本剰余金	462
利益剰余金	16,827
自己株式	△ 11
その他の包括利益累計額	714
その他有価証券評価差額金	1,356
為替換算調整勘定	△ 582
退職給付に係る調整累計額	△ 59
非支配株主持分	92
純資産合計	27,017
負債・純資産合計	43,124

連結キャッシュ・フロー計算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで) (単位: 百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,536
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,560
現金および現金同等物の期末残高	9,823

連結株主資本等変動計算書 (2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2019年4月1日 期首残高	8,932	462	16,715	△ 11	26,099
会計方針の変更による累積的影響額			142		142
会計方針の変更を反映した2019年4月1日 期首残高	8,932	462	16,858	△ 11	26,242
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 400		△ 400
親会社株主に帰属する当期純利益			368		368
自己株式の取得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 31	△ 0	△ 31
2020年3月31日 期末残高	8,932	462	16,827	△ 11	26,210

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
2019年4月1日 期首残高	1,417	53	45	1,516	106	27,722
会計方針の変更による累積的影響額						142
会計方針の変更を反映した2019年4月1日 期首残高	1,417	53	45	1,516	106	27,865
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当						△ 400
親会社株主に帰属する当期純利益						368
自己株式の取得						△ 0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△ 60	△ 635	△ 105	△ 801	△ 14	△ 816
連結会計年度中の変動額合計	△ 60	△ 635	△ 105	△ 801	△ 14	△ 847
2020年3月31日 期末残高	1,356	△ 582	△ 59	714	92	27,017

## 会社の概要

商号	TOWA株式会社 (英文名TOWA CORPORATION)		
設立	1979年4月17日		
資本金	8,932,627,777円		
本社所在地	京都市南区上烏羽上調子町5番地 ☎(075) 692-0250(代表)		
従業員数	528名(単体)	1,566名	(連結)
役員	代表取締役社長	岡田博和	
(2020年6月26日現在)	取締役常務執行役員	浦上浩住	
	取締役常務執行役員	田村吉耕	
	取締役上席執行役員	石林久一	
	取締役常勤監査等委員	小桑木芳肇	
	社外取締役監査等委員	和氣大輔	
	社外取締役監査等委員	後藤穂昇	
	上席執行役員	早坂生喜	代重
	執行役員	浦鈕舜	
	執行役員	韓方相	倫隆
	執行役員	柴原信一	洋典
	執行役員	西村秀宗	典彦
	執行役員	笹田三浦	
	執行役員	中西	

ホームページ <https://www.towajapan.co.jp>  
上場取引所 東京証券取引所市場第一部

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年		
定時株主総会	毎年6月		
基準日	株主総会権利行使および期末配当	3月31日	
	中間配当	9月30日	
単元株式数	100株		
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部		
郵便物の郵送先および 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社証券代行部 ☎0120-288-324(フリーダイヤル)		
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)		
公告方法	電子公告の方法により行います。但し、 やむをえない事由により電子公告を することができない場合は、日本経済新聞 に掲載します。 公告掲載URL <a href="https://www.towajapan.co.jp">https://www.towajapan.co.jp</a>		

## 株式の状況 (2020年3月31日現在)

●発行可能株式総数	80,000,000株
●発行済株式の総数	25,021,832株
●株主数	8,150名
●大株主	

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,758千株	11.03%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,070	8.28
株式会社ケイビー恒産	2,000	8.00
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	1,609	6.43
資産管理サービス信託銀行株式会社	843	3.37
蒲生徳子	718	2.87
株式会社京都銀行	699	2.80
株式会社エヌレガロ	600	2.40
坂東幸子	510	2.04
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	408	1.63

(注1) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、日本マスタートラスト信託銀行株式会社および資産管理サービス信託銀行株式会社の持株数は信託業務に係るものです。  
(注2) 持株比率は、自己株式(12,620株)を控除して計算しております。

## TOWAグループ (2020年3月31日現在)

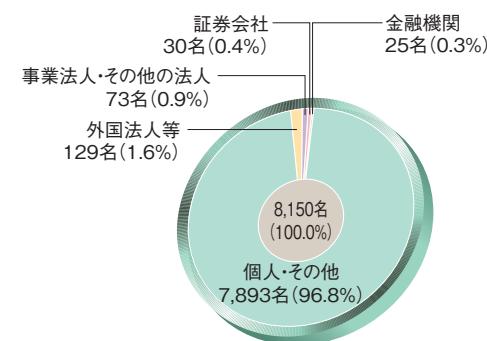
### 国内

TOWA株式会社  
本社・工場  
京都東事業所  
坂東記念研究所  
九州事業所  
東京営業所  
株式会社バンディック  
TOWATEC株式会社  
TOWAレーザーフロント株式会社

### 海外

TOWA Asia - Pacific Pte. Ltd. (シンガポール)  
TOWAM Sdn. Bhd. (マレーシア)  
TOWA Semiconductor Equipment  
Philippines Corp. (フィリピン)  
TOWA THAI COMPANY LIMITED (タイ)  
TOWA USA Corporation (米国)  
TOWA Europe B.V. (オランダ)  
TOWA Europe GmbH (ドイツ)  
TOWA半導体設備(蘇州)有限公司(中国)  
東和半導体設備(上海)有限公司(中国)  
東和半導体設備(南通)有限公司(中国)  
上海沙迪克軟件有限公司(中国)  
蘇州STK鑄造有限公司(中国)  
台湾東和半導体設備股份有限公司(台湾)  
TOWA韓国株式会社(韓国)

### 所有者別株主数分布



### 所有者別株式数分布

